



認定 NPO 法人 かわさき市民アカデミーは
かわさき市民アカデミーの
一層の充実・発展を目指します。

2015年12月4日、NPO法人かわさき市民アカデミーは川崎市から「認定NPO法人」に認定されましたことをかわさき市民アカデミーにかかわる全ての皆様にご報告させていただきます。認定NPO法人制度は、「広く一般から支持されている」「活動や組織運営が適正」「より多くの情報公開が行われている」等の要件を満たしているNPO法人を認定し、大幅な寄附金控除をする事で認定NPOへの一般からの寄附を促し、その寄附金で活動を支援することで社会や地域をより豊かにすることを目的に設けられた制度です。日本では近年の法改正で広がりを持ち始め、全国のNPO法人約5万団体のうち認定NPO法人は902団体、川崎市では351団体中6団体（2015年10月末日現在）です。

私たちは、高い公益性をもつと認定された法人としてかわさき市民アカデミーの事業を特に以下の点で充実・発展させたいと思っています。

- ①市民の生きがいづくりと地域づくりのために、講座の一層の充実を図ります。
- ②地域の子どもたちを中心に参加者層の拡大を目指します。
- ③受講生の学習成果を活かしたボランティア活動を支援します。
- ④「川崎学」の成果を出版し、「郷土かわさき」の素晴らしさを後世にも伝えます。

これらは、いずれもかわさき市民アカデミーに集う皆様のお力無しには達成できない課題です。活動を参加や寄附で支えて頂けるよう心からお願い申し上げます。

（認定NPO法人に寄附をした場合、税申告で寄附金控除が認められます。詳しくは事務局へ）

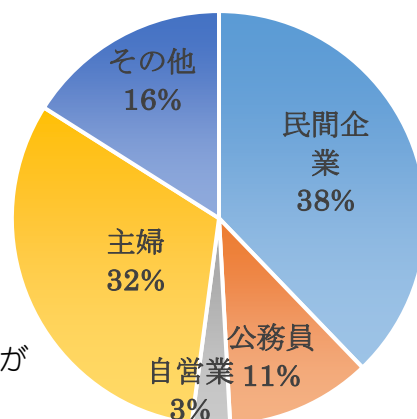


アンケートへのご協力ありがとうございました。

10月に実施しました、受講生基本アンケートの結果を簡単にまとめました。男性643名女性573名、計1216名の方から回答をいただきました。年齢構成では60歳代が43%、70歳代が44%を占め、居住地域は麻生、多摩区が約35%、高津、宮前区が約25%、中原区が12%、幸、川崎区が約8%、川崎市以外の方が20%という結果でした。

旧職業等をお伺いしました結果は右の円グラフのようになりました。出身企業名の公表は差し控えますが、民間企業出身と主婦の方の受講生が多い結果となっています。

高齢化が進んでいるので若い世代の新規受講生の勧誘をお願いします。



理事会報告

2015年度 第6回（12月）理事会
12月16日（水）15時30分～



チェックポイント

報告事項：21件 審議事項：5件

◎主な報告事項

- ・15年度後期受講者数の確定について
- ・単位制度と修了制度改定案について
- ・地域振興策一講演会の実施について
- ・後期運営代表世話人会議について
- ・出版委員会の報告について
- ・受講生のつどいの開催について
- ・認定NPOの認可に伴う義務と効果について

◎主な審議事項

- ・16年度新役員の募集について
- ・16年度会員・運営世話人のてびきについて
- ・寄附金募集活動について

▼今回の理事会は、来年度の開講に向けた準備と新たな取り組みについて報告・審議がなされました。

▼報告としては、次年度から始まる新しい会員制度および単位制度について、地域の振興策として2月に実施する無料特別講座の開催、12月初旬になされた認定NPOの認可によりどのような義務が生じ、どのような利点があるのかなどの事項があがりました。

▼審議事項としては、次年度の準備に係る事項と、認定NPOになったことを受けて始まる寄附金募集の活動という新たな取り組みについて時間をかけた話し合いがなされました。

「2015年度後期 運営代表世話人会議」が開催されました。

12月1日（水）、「2015年度後期 運営代表世話人会議」が、川崎市生涯学習プラザで開催されました。各講座、WSの代表世話人（代理を含む）19人、NPO役員13人、合計32人が出席しました。

前半のNPOの全体報告では、前期から講座数は増加したもののさらに多くの受講生を獲得できるように努力していきたいとの挨拶がありました。報告事項として、認定NPOの見通しとアカデミー協会の発足、11月に開催したフェスタの報告、受講生のつどいの準備状況、16年度前期の受講生募集スケジュールが担当理事から報告がありました。

後半は、参加者のグループ別の懇談会を行い、講座WSの運営について、工夫していることや課題などの意見交換が行われました。初めての試みでしたが、時間いっぱい有意義な意見交換ができました。

2016年度前期講座 受講申し込み開始しました。



「講座のご案内」はお手元に渡りましたでしょうか。来年度も内容充実の講座が満載です。

毎年前期に2年会員の募集をします。ぜひ2年会員になって多くの講座をご受講ください。1年会員も専攻コースの選択をするようになりましたが今まで通り自由に講座を受講できます。どうぞ身近なお友達などにどんどんかわさき市民アカデミーをご紹介ください。（新規受講生紹介制度が出来ました。）

受講生のつどいの お知らせ



3月2日（水）13時30分から、川崎市生涯学習プラザで開催されます。

1年の締めくくりに受講生と先生、受講生同士の親睦及び交流を深めて頂きたいと思えます。津軽三味線の名手お二人による迫力ある演奏、恒例ウルトラクイズもあります。申込み不要、会費無料です。受講生の皆様のご参加をお待ちしています。

イチオシ講師の講座報告《8》：他の講座の人にも聴いてもらいたかったなあ～～ というすごい講座のご紹介！



◎講座：人間学 人間学再論 ー「いのち」の営みについて考える [7] 「いのち」の不条理をどう考えればよいか(2) 哲学者 内山 節

人間学では前期後期ともに毎回2回ずつ内山節先生の講義があります。内山先生は東京と上野村(群馬県)に生活拠点を置き、また海外を含めた各地域でのご活動から得られた、ご自身の肌と目と耳からの情報に加え、独自の視点で物事を広く深く見据え、それらを分かり易く丁寧に噛み砕いてお話し下さいます。そのお話はとても魅力的でいつも惹き込まれていきます。

今日も実体験を交えた人との結びつきの大切さと、生きる事を通しての役割ー「いのち」が他者(自然、人間、死者をも含む。これを筆者は全体性と呼ぶことにした)と共にあるという事、また「いのち」は全体性から生まれ、死は全体性に回帰するということであり、それは古くからの日本にある神の概念と通じる一方で、現代主流の「いのち」の概念は個人に所属するものであり、可視化できる部分のみで判断する、例えば死について医学に判断を一任している、それとは全く次元の異なる「いのち」の役割についてお話し下さいました。つまり生産性の観点で計る役割ではなく「いのち」そのものの役割を指します。

わたし達は現代社会を生きる中で知らず知らずの内に、どれだけの生産性が見込まれるだとか可視化できる財産等(税収見込み額)で「いのち」の重さを計ることに慣れきってしまい、自他共の「いのち」に対して虚しさや儚さを覚え、絶望感に襲われ易くなっていますが、もしかすると上野村のお年寄りのように落ち着いて死を迎える準備ができるようになるのかもしれないと思いました。

そもそも人間学では、哲学は勿論のこと、倫理学、文学、歴史、医学、芸術・芸能、宗教学、食文化、その他あらゆる文化面からのアプローチによって、「生きることを深く見つめなおす」をコンセプトにし、毎回著名な有識者、先生方の講義を拝聴できる贅沢なプログラムとなっています。来期のテーマは「人間学再論 - 今あらためて死と生を問い直す」です。

(受講生 木下すいれん)

イチオシ講師の講座報告《9》：他の講座の人にも聴いてもらいたかったなあ～～ というすごい講座のご紹介！



◎講座：エクセレントⅢ 「第一次世界大戦がもたらしたもの」 [9] 平和への努力 成城大学教授 田嶋 信雄

田嶋先生の講義には、老壮年受講者にも「青春の好奇心」をたぎらすような魅力があります。ここでは第一次と第二次世界大戦間期の「平和への努力」の講義内容の一端を紹介します。中心課題は「平和構築のための諸方策」です。

①勢力均衡と海軍軍縮。覇権獲得の大国出現阻止へワシントン会議、ロンドン軍縮会議。海軍軍縮は膨大な維持費に悩む日本に「渡りに船」。統帥権干犯との見解等から、不満・反発集団を生む。②全面軍縮への努力。国際連盟規約に規定。その第一歩と軍縮を義務づけられた敗戦国ドイツの不满はナチス台頭の素地にも。③戦争違法化の試み。パリ不戦条約、日本調印。満州事変は不戦条約違反とアメリカ抗議(スティムソン・ドクトリン)。④集団安全保障、国際連盟創設、規約に制裁を規定。アメリカの不参加等の弱点、ドイツやソ連の加盟でその克服も試みる。満州事変・満州国」の建国は国際連盟への反逆、有効な制裁無く連盟の限界露呈。イタリアのエチオピア侵略も同様。日・独・伊は次々と連盟脱退、ソ連はソ・フィン戦争で除名制裁。連盟中心の平和の試み失敗。⑤地域安全保障体制。中欧の安全保障条約＝ロカルノ条約。ドイツ西部国境の維持を保証、東部は条約案形成するも挫折しポーランド等に不安を。東欧の「小協商」「バルカン協商」「バルト協商」。戦火絶えぬバルカンの非バルカン化といわれた「バルカン協商」は自壊の道へ。

「平和への努力」とは逆に大戦を予感させる動きは活発です。その後はどうなるのでしょうか。来期の講座「第二次世界大戦とその背景」が楽しみです。

(受講生 青池英夫)



新年のご挨拶ほか

新たな年が幕をあけました。さて皆さまは今年の「目標」を立て「抱負」を決めましたか。そもそも「抱負」には何故「負ける」という字が入っているのでしょうか。そこで少々調べてみると「抱負」とは心に抱いている計画や決意。「負」は「負ける」という意味ではなく「(背) 負う」という意味で使われているそうです。「抱負」は^{さるどし}申年にちなんで、受講生の皆さまがアカデミーを^{さる}さることのないように満足して受講してくださる年となりますようにと願い、事務局といたしましてはアカデミーに関してご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせくださることができ、皆さまに愛される事務局を心がけていきたいと存じます。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて春からのアカデミーでは皆さまの「知りたい・学びたい」という知的好奇心を満たす53の講座、ワークショップを開講します。その他にも**特別講座 2/19・2/26・3/4「映画監督 自作を語る～原邦の本当の姿を知ろう～」【全3回各講座 1,000円当日集金、要事前申込み】**、**2/12 講演会「京急の発展と歴史」【無料、事前申込み不要】**を開催します。(詳しくは事務局または個別チラシでご確認ください。TEL.044-733-5590) その他アカデミーでは1/23「シニアライフ講演会」(川崎市総合福祉センター)、1/30「ごえん楽市」(かわさき市民活動センター)、2/20「幸区市民活動交流イベント」(幸区役所1階)、2/27「春からはじめよう! 公開講座体験 in アトレ川崎」(アトレ川崎1階)などに参加します。

(事務局 堀江 清美)

アカデミー予定表 2016.1.12 現在

2016年1月 予定		
12	月	2016年度前期受講申込み開始
17	日	「受講生募集案内チラシ」新聞折込み
27	水	説明会 (高津市民館)
28	木	説明会 (宮前市民館)
29	金	説明会 (麻生市民館)
2016年2月 予定		
1	月	説明会 (中原市民館)
3	水	説明会 (川崎市教育文化会館)
12	金	「講演会と説明会」(ミューザ川崎)
19	金	受講申込み締切り 特別講座 第1回
26	金	特別講座 第2回
2016年3月 予定		
2	水	受講生のつどい
4	金	特別講座 第3回
11	金	受講料納入締切り
31	木	追加募集締切り
2016年4月 予定		
7	木	開講式



〈編集後記〉

◆新春のおよろこびを申し上げます。昨年末念願でした認定NPO法人となりました。気持ちも新たに、「かわさき市民アカデミー」の維持発展に尽くしていく所存です。

◆2015年度後期の講座も残すところあと少しとなりました。講座の内容、運営にご満足頂けたでしょうか。各講座でお願いするアンケートなどに感想ご要望など遠慮なくご記入頂ければと思います。皆さんの忌憚ないご意見お待ちしております。

◆今年度もなんとか「アカデミーかわら版」の発行の重責を務める事が出来ました。皆様のご協力の賜と感謝申し上げます。ありがとうございました。

(t)

発行：認定 NPO 法人 かわさき市民アカデミー
アカデミーかわら版編集委員会

連絡先: TEL 044-733-5590

メール: info@npoacademy.jp

NPO ホームページ <http://npoacademy.jp>

